

【血統傾向】(父)

過去10年の3着以内馬30頭のうち3着以内数が多いのは

ディープ系:12頭

キングマンボ系:5頭

Tサンデー系:5頭

Pサンデー系:4頭(全てダイワメジャー産駒)

このように、日本では主流血統となる系統が
3着以内馬30頭中26頭を占める「超主流レース」

(母父)

大系統ノーザンダンサー系:10頭

大系統ミスプロ系:7頭

大系統ナスルーラ系:5頭

大系統サンデー系:3頭

【前走距離傾向】

過去10年の3着以内馬30頭の内
前走が1600mだった馬が27頭と圧倒的。

前走が1400mだった馬は56頭が出走して
3着以内3頭という成績に終わっております。

【前走レース傾向】

安定しているのは前走G1組で、
該当馬の半分が馬券絡みを果たしており、
前走3着以内限定すること、勝率40%
連対率80%というハイアベレージを見せております。

今年の「前走G1阪神JF3着以内馬」

シンリョクカ

リバティアイランド

前走チューリップ賞組も優秀ですが、
G2に昇格した2018年以降は勝ち馬が出ておらず、
複勝率も以下の通り低下傾向にあります。

↓↓↓

G3時代：複勝率44%/複回率198%

G2昇格後：複勝率28.6%/複回率84%

代わって、前走クイーンカップ組、エルフィンS組
シンザン記念組から勝ち馬が出るようになっております。

ちなみに、前走G2チューリップ賞組は
チューリップ賞で5人気以内だった馬しか馬券になっておらず
前走G2チューリップ賞5人気以内の複勝率は35.3%

今年のチューリップ賞5人気以内に該当する馬は

キタウイング

ドゥーラ

ペリファーニャ

【前走馬体重】

小柄な馬でも走りますが

過去10年の勝ち馬は、全て前走460キロ以上500キロ未満。

500キロを超すような大型馬は馬券になっておりません

今年の該当馬

ドゥーラ

ハーパー

ブトンドール

ムーンプローブ
ペリファーニャ
リバティアイランド

【生産者とレース間隔】

・ノーザンファーム生産馬

ノーザンファームの生産で、レース間隔が
中4週～中24週だった馬は、過去10年で
13頭が3着以内に好走しております。

その一方で、レース間隔が中3週以内だった馬は
18頭が出走して馬券に絡んだ馬はゼロ。

間隔をあげたノーザンファーム生産馬に要注意でございます。

今年の該当馬

コナコースト
ドウアイズ
ハーパー
ペリファーニャ
ラヴェル
リバティアイランド

・社台ファーム生産馬

社台ファーム生産馬で、レース間隔が
中4週～中7週だった馬は、過去10年に11頭出走し、
6頭が馬券に絡んでおりました(複勝率54.5%/複回率175%)

今年の該当馬

モズメイメイ

阪神は木曜から金曜にかけて80ミリ程度の降雨があるようで、当日は良馬場になっても路盤は緩む可能性が高いと考えられます。

展開・ペースについては予測困難ですが、少なくともパンパンの高速馬場にはなりそうもなく、標準的な時計を要する馬場が有利になるような血統馬の台頭には気を付けたいと考えております。

・エミュー

父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

祖母父:米ゴーンウエスト(ミスプロ系)

生産牧場:ノースヒルズ

レース間隔:中2週

前走:G3フラワーカップ1着(2人気)

前走馬体重:414キロ

不良馬場のG3フラワーカップ(中山1800m)を勝ったように非主流条件を得意とする個性の持ち主。

この個性は牝系ファミリーに由来するところが大きく、ファミリーは内回り・小回りの1400m・1800mを得意としております。

血統評価:D

適性評価:D

傾向評価:D

・キタウイング

父:ダノンバラード(ディープ系)

母父:アイルハヴアナザー(米フォーティナイナー系)

祖母父:ゼンノエルシド(欧ニジンスキー系)

生産牧場:ミルファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞7着(5人気)

前走馬体重:432キロ

時計を要する馬場に強いダノンバラード産駒。
ディープ系×大系統ミスプロ系の配合は高評価対象。

ただ、本馬の牝系ファミリーは中山巧者で、
本馬自身もG3フェアリーS(中山1600)優勝馬。

また、ミルファーム生産馬は関西圏のレースに
非常に弱く、関西では滅多に走らないのが不安材料。

しかし、前走チューリップ賞5人気以内に該当し、
キャリア6戦中5戦で上り2位以内をマークと言うのも
恐さを感じるところでございます。

血統評価:B

適性評価:C(馬場によってはB)

傾向評価:C

・コナコースト

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

母父:キングカメハメハ(大ミスプロ系)

祖母父:米ヴァイスリージェント系

生産牧場:ノーザンファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞2着(6人気)

前走馬体重:458キロ

クラシック活躍馬を多数輩出している
バレークイーン牝系の出身馬。

キタサンブラック産駒は高速馬場よりも

時計を要する馬場の方が向いている傾向があり、
週中の大雨で路盤が緩むようならチャンスが広がりそう。

血統評価:B

適性評価:B

傾向評価:B

・コンクシエル

父:キズナ(ディーブ系)

母父:ガリレオ(欧サドラーズ系)

祖母父:マキャベリアン(欧ミスプロ系)

生産牧場:ノースヒルズ

レース間隔:中3週

前走:アネモネS2着(13人気)

前走馬体重:452キロ

血統評価:B

適性評価:D

傾向評価:D

・シングザットソング

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:ファピアノ系(米ミスプロ系)

祖母父:米ノーザンダンサー系

生産者:社台コーポ白老

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー(1400m)1着(2人気)

前走馬体重:436キロ

牝系ファミリーは勝ち星の74%がダート戦の
ダートファミリーで、芝の良績は非根幹距離に集中。

血統評価:B

適性評価:D

傾向評価:D

・シンリョクカ

父:サトノダイヤモンド(ディープ系)

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:カーリアン(欧ニジンスキー系)

生産者:下川辺牧場

レース間隔:中16週

前走:G1阪神JF2着(12人気)

前走馬体重:440キロ

母の半兄ダノンシャーク(ディープ系種牡馬)は
G1マイルCS優勝の他、マイル重賞で11度馬券に
絡んだ名マイラーでございました。

本馬はスローペースの新馬戦(東京1600m稍重)を
上り最速で圧勝し、次走の阪神JFでは超ハイペースの
消耗戦に対応してみせ12人気ながら2着に激走。

馬場状態やペースに左右されずに力を出せるのは
競走馬としては非常に重要な才能であり、
前走をフロック視されて下位人気に甘んじるようなら
面白い存在になりそうですな。

鞍上がサウジのG1でパンサラッサに13億円を
稼がせた「大金運男」の吉田豊殿というのも宜しゅうございますなあ。

血統評価:B

適性評価:A

傾向評価:A

・ジューンオレンジ

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

祖母父:サンデーサイレンス

生産者:ヒダカファーム

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー(1400m)3着(11人気)

前走馬体重:446キロ

曾祖母ツインクルブライドは桜花賞2着馬。

ですが、牝系ファミリーはスプリンターの一族ですな。

パンパンの高速馬場なら念のために押えとくかあ
といったイメージでございます。

血統評価:C

適性評価:C

傾向評価:D

・トーセンローリエ

父:サトノクラウン(欧ノーザンダンサー系)

母父:メイショウサムソン(欧サドラーズ系)

祖母父:ステイゴールド(Tサンデー系)

生産者:エスティファーム

レース間隔:中3週

前走:アネモネS1着(1人気)

前走馬体重:426キロ

血統評価:C

適性評価:C

傾向評価:D

・ドゥーラ

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:ステイゴールド(Tサンデー系)

生産者:グランデファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞15着(1人気)

前走馬体重:476キロ

牝系ファミリー全体の勝ち星は

ローカルでのものが78.6%を占める

ローカル一族でございますな。

血統評価:B

適性評価:D

傾向評価:C

・ドウアイズ

父:ルーラーシップ(欧キングマンボ系)

母父:ディーピンパクト

祖母父:欧ダンチヒ系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中7週

前走:G3クイーンC2着(2人気)

前走馬体重:446キロ

前走クイーンカップからの母父ディーピンパクトが

桜花賞で馬券になっていないのは少々不安でございますが...

血統評価:C

適性評価:B

傾向評価:B

・ハーパー

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:米APインディ系

祖母父:米ミスプロ系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中7週

前走:G3クイーンカップ1着(6人気)

前走馬体重:466キロ

母はアルゼンチンのダート1600G1ホース。

アルゼンチンの芝血統は日本の高速馬場に適性が高いですがダート血統の場合はダート馬に出やすく、半姉ヴァレーデラルナはJBCレディースクラシックG1の勝ち馬でございますな。

前走のクイーンCは、少し上り時計の掛かる展開と稍重馬場が合っていたところもある訳ですが、当日の路盤が緩いようであれば、再び恵まれる可能性も。

血統評価:C

適性評価:C

傾向評価:C

・ブトンドール

父:ビッグアーサー(プリンスリーギフト系)

母父:スウィフトカレント(Lサンデー系)

祖母父:欧ニジンスキー系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー6着(1人気)

前走馬体重:496キロ

スプリント血統にスプリント牝系。
1600mはちょっとどうでしょうか？

血統評価:D

適性評価:D

傾向評価:D

・ペリファーニア

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:ハーツクライ(Tサンデー系)

祖母父:エタン系(欧ネイティヴダンサー系)

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞3着(2人気)

前走馬体重:496キロ

エフフォーリアの半妹になりますが、
父モーリスの影響を受けた本馬はマイラー体型ですな。

従兄弟に種牡馬アドマイヤムーンがいる牝系ファミリーで、
3歳重賞活躍馬も多数出ている完成の早い一族でございます。
また、阪神芝1600mに適性の高い牝系ファミリーでもあり
牝馬は特に好相性(複勝率47.1%/複回率154%)

血統評価:B

適性評価:B

傾向評価:A

・ムーンプローブ

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:フジキセキ(Pサンデー系)

祖母父:米ダンチヒ系

生産者:追分ファーム

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー2着(7人気)

前走馬体重:464キロ

ダートのスプリント牝系で、馬体も短距離型。
距離延長でパフォーマンスを上げるイメージはありませぬ。

血統評価:C

適性評価:D

傾向評価:D

・モズメイメイ

父:リアルインパクト(ディープ系)

母父:フランケル(欧サドラーズ系)

祖母父:エンパイアメーカー(米ミスプロ系)

生産者:社台ファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞1着(7人気)

前走馬体重:456キロ

牝系ファミリーの阪神外回りコース実績は

勝率35.3%/単回率170%

複勝率64.7%/複回率123%

大系統サンデー系×大系統ノーザンダンサー系の配合は
桜花賞ニックスと呼ぶべき好走血統。

血統評価:A

適性評価:A

傾向評価:B

・ユリーシャ(除外)

父:グレーターロンドン(ディープ系)

母父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

祖母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

生産者:スカイビーチステーブル

レース間隔:中8週

前走:エルフィンS1着(6人気)

前走馬体重:446キロ

グレーターロンドンの産駒は

距離延長ローテでの1600mが最も期待値が高く、
前走延長ローテで1600mを勝った直後の同距離は
反動の心配がある「不利ローテ」に該当します。

血統構成自体は桜花賞ニックスに該当するので、
完全無視と言う訳にも参りませぬが...

血統評価:A

適性評価:B

傾向評価:D

・ライトクオンタム

父:ディーピンパクト

母父:米ミスプロ系

祖母父:米ダンチヒ系

生産者:社台ファーム

レース間隔:中12週

前走:G3シンザン記念1着(2人気)

前走馬体重:428キロ

ディーピンパクトのラストクロップ。

小柄な牝馬で、母系から直線のトップスピードを
強化されている「超主流血統」。

前走は、配合から考えれば苦手なはずの

前傾ラップの消耗戦でしたが上り最速勝ち。

相手に恵まれた感もありますが...

鞍上の武豊殿はディーピンパクトの主戦を務めた騎手で、
ディープのラストクロップとなれば、並々ならぬ思い入れが
あるでしょうし、それが弟の幸四郎厩舎の管理馬となれば
尚の事でございます。

去年はハナ差及ばず、弟にG1初勝利を

プレゼント出来なかつただけに「今年こそ」の思いも。

血統評価:A

適性評価:A

傾向評価:B

・ラヴェル

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

母父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

祖母父:米ヴァイスリージェント系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中16週

前走:G1阪神JF11着(4人気)

キタサンブラック×Pサンデー系という配合は
阪神1600mの残念配合に該当してしまいます。

また、半姉ナミュールは阪神JF、桜花賞で
1人気を裏切って馬券圏外に終わっており、
牝系ファミリーは左回りに良績が集中する
サウスポーの一族でございますな。

血統評価:D

適性評価:C

傾向評価:C

・リバティアイランド

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:オールアメリカン(欧ロベルト系)

祖母父:ザール(欧ミスプロ系)

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中16週

前走:G1阪神JF1着(1人気)

前走馬体重:462キロ

2022年のJRA最優秀2歳牝馬。

母は豪州の芝1200m～2000mのG1で
2勝、2着2回、3着1回という実績馬。

スローペースの新馬戦では、上り最速
31秒台という異常な上りタイムで圧勝。
前走の阪神JFでは、レースの上り時計が
36秒以上を要する消耗戦を圧勝して見せました。

3歳春を迎えて馬体の完成度に磨きがかかり、
ノーザンファームしがらきで抜かりなく仕上げられた印象。

血統評価:B

適性評価:A

傾向評価:A